

公益社団法人 日本天文学会 理事会議事録

日 時：2020年12月26日（土）13時00分～16時00分

場 所：日本天文学会事務所（オンライン開催）

出席理事：梅村、田村（元）、寺田（馬場）、鈴木、伊王野、鹿野、早野、松田、酒井、富田、田村（陽）、
小出、浅田、佐藤（文）、山村

出席監事：大石、関井

また、佐藤事務長、黒岩事務長補佐、田口谷事務長補佐が出席した。

I. 確認事項など

I-1. 議事に先立ち、出席者が15名で定足数を満たし、本会が成立することが確認された。

I-2. 前回議事録の確認

資料2に基づき、前回（2020年9月7日）の理事会議事録および2020年10月の電磁的決議の議事録が報告され、承認された。

II. 議題

II-1. 新規加入者および移籍（準 → 正）の承認（資料3、伊王野）

2020年9月1日～2020年12月23日までに正会員入会申請63名、準会員入会申請17名、団体会員入会申請1団体、移籍（準 → 正）2名、2021年度より移籍（準 → 正）1名、の申請があり、賛成多数で承認された。

II-2. 次期委員候補のリストについて（資料6、鈴木）

2021年6月から2023年6月までの日本天文学会委員候補者のリストが提示された。微修正を加えることとし、賛成多数で承認された。

II-3. 年会実行委員の交代について（資料7、酒井）

年会実行委員の正田亜八香氏から和泉究氏への交代が提案された。賛成多数で承認された。

II-4. PASJ 編集委員の交代について（資料18、鈴木）

PASJ 編集委員の坪井昌人氏から深川美里氏への交代が提案された。賛成多数で承認された。

II-5. 国内研修委員会の内規の修正について（資料14、鈴木）

以下のように、内規の修正が提案された。

a. (対象者)

現行

第3条 本支援金を受ける者は当該年度初日にすでに本会会員である者とし、支給対象者は若干名とする。

改定案

第3条 本支援金を受ける者は応募時点で本会会員である者とし、支給対象者は若干名とする。

b. (申請手続)

現行

第4条 本支援金を受けたいと思うものは、次の事柄を所定の用紙に記入し、研修希望年度の前年の12月末日までに、会長に申し出ること。

改定案

第4条 本支援金を受けたいと思うものは、次の事柄を所定の用紙に記入し、選考委員会が天文月報、tennet、国内研修支援金ホームページ上告知する締め切り日までに申請すること。
第4条の改定案に対して、「選考委員会が天文月報、tennet、国内研修支援金ホームページ上」を「募集時に」に変更することとし、賛成多数で承認された。

II-6. 次期理事・監事候補について（資料15、鈴木）

次期理事・監事候補のリストが提示され、特に異議がないことが確認された。代議員総会に提示することとする。

II-7. 2021年度会費納入期限の延長について（資料16、鹿野）

正会員（学生）と有期雇用契約の職（いわゆるポスドク）に就く正会員に対する会費免除を2021年度も再度実施する可能性を検討していることが報告された。2021年3月の時点で実施すると判断した場合には、理事会と代議員総会に諮ることとする。但し、それだと実施の有無に関わらず、会員側も事務所側も会費納入手続きに混乱が予想されるため、細則で規定されている会費の納入期限（「当該年度の4月末日まで」）を、2021年度の特例として「5月末日まで」に変更し、加えて正会員の学生に対する割引額適用期間も「5月末日まで」に延長させることが提案された。賛成多数で承認された。

II-8. 年会費と年会参加費について（資料17、鹿野）

正会員（一般）の年会費を18,000円から16,000円、年会参加費を3,000円（講演時は免除）から5,000円（講演時も負担）、講演登録費を3,000円から2,000円に変更すること、および正会員（学生）を10,000円から8,000円、年会参加費を3,000円（講演時は免除）から2,000円（講演時も負担）、講演登録費を3,000円から2,000円に変更することが提案された。この改定案の趣旨は以下の通りである。

- 年会参加関連費（＝年会参加費＋講演登録費）を値上げする代わりに、年会費を値下げし、学会の全体収益を変えずに、年会事業収益を改善する。
- 「講演ありの場合、参加費は無料」のルールを廃止して、会場費等が掛かる通常開催の場合は、年会参加者全員から参加費をきちんと徴収することで、会場費等が不要なon-line開催になった場合でも、参加費を無料にすることで、その経費変化を容易に年会参加者に還元できる。
- 正会員（学生）の年間出費が、年1回講演する際にも、年2回講演する際にも極力維持されるよう、年会参加費と講演登録費を設定する。

2021年3月もしくは9月の会員全体集会にて報告して意見を聞いた上で、適宜修正し2022年度予算に反映する予定であることが確認された。

II-9. キャリア支援委員 学生委員の追加について（資料19、鈴木）

2020年6月から任期1年の委員として、大森清顕氏（名古屋大学・正会員）を追加することが賛成多数で承認された。

II-10. 天文教材委員会の終了について（資料 13、鈴木）

天文教材委員会は 1997 年に発足後、メシエポスターと名刺、一家に一枚ポスターなど、活発に活動し、天文学の振興及び普及に貢献した。これまでの活動により重要な教材を整備しているが、2010 年以降は宇宙図 2018 などの企画を除けば、新たに大きなニーズは生じていない。日本天文学会執行部(会長、副会長、庶務理事、会計理事が参加)でも、時間をかけて検討し、来年 6 月の委員メンバーの交代の時期に、独立の委員会としての天文教材委員会は終了するのが良いのではという結論となった。その上で、教材委員長に加え、関連の深い教育理事、インターネット天文学辞典編集委員長にもこの方針を確認した。今後は、新たに発生しうる教材作成の機会へ学会として対応し、天文教育委員会やインターネット天文学辞典委員会等、教育・普及関連の委員会の連携にて対応する方針が提案された。天文教材委員会を今期で廃止することが、賛成多数で承認された。

II-11. 公益社団法人日本天文学会 2021 年度事業計画の承認（資料 4、鈴木）

2021 年度(2021 年 4 月 1 日～2022 年 3 月 31 日)事業計画書が提示された。文言修正の後、次の代議員総会に提案することが賛成多数で承認された。

II-12. 公益社団法人日本天文学会 2021 年度予算案の承認（資料 5、鹿野）

2021 年度(2021 年 4 月 1 日～2022 年 3 月 31 日)予算案が提示され、次の代議員総会に提案することが賛成多数で承認された。

II-13. 各賞の受賞候補者の情報について（梅村）

これまでは、各賞の候補者情報が理事会に全く出ていなかったが、このことが問題である可能性があることが指摘された。来期以降は理事会にも候補者の情報を示してから代議員総会に諮ることが確認された。

II-14. 学術会議問題の声明案について（梅村）

現在、会員に対しての意見聴取を行っているところである。その結果を受け、次の代議員総会で方針を決めることになるが、今後は、理事会への情報共有および内容の確認もしっかりと行っていくことが確認された。

III. 報告

III-1. 移籍・退会等の報告（資料 3、伊王野）

2020 年 9 月 1 日～2020 年 12 月 23 日までに正会員退会 7 名、準会員退会 7 名があったことが報告された。

III-2. 2021 年度春季年会について（資料 9、酒井）

東京工業大学での開催を予定していたが、新型コロナウイルスの影響を考慮し完全オンラインで開催(2021/3/16-3/19)する。基本的には前回(2020 年秋季年会)の実施方法を踏襲するが、ポスター講演を行うなど一部変更する予定であることが報告された。

III-3. ジュニアセッション開催理事からの報告（資料 8、山村）

2021 年春季年会の募集に 53 件の発表申し込みがあった。発表方法は現在実行委員会で検討中だが、口頭発表は発表時間に収まるよう事前に録画した動画を放映後、質疑応答をリアル

タイムで行うこと、ポスターはホームページ上で公開し、フォームでコメントを受け付ける予定であることが報告された。

III-4. 選挙管理委員会からの報告（資料 10、鈴木）

第 6 期代議員戸谷友則氏の退会により、欠員が生じたため日本天文学会定款第 34 条の規定に基づき、第 6 期代議員選挙において補欠順位第 1 位であった山崎了氏の繰り上げ当選が決まったことが報告された。

III-5. ネットワーク委員会からの報告（資料 11、田村陽）

ホームページのリニューアルが終了し、12 月 9 日に公開した。追加作業が発生したため、当初の納期に遅延が発生した。現在のところ、障害の報告はない。12 月 25 日に納品試験が完了したことが報告された。

III-6. 天文教育委員会からの報告（資料 12、富田）

2021 年春季年会で「天文学から SDGs へのアプローチ」というテーマでフォーラムを開催する予定である。また、講師紹介プログラム、および監修者紹介プログラムの状況が報告された。IAU OAE の各国コーディネーター日本チームについての報告があった。

III-7. PASJ 編集委員会からの報告（資料 18、鈴木）

紙版の電子化が進んでいることが報告された。

III-8. 今後の年会進捗状況報告（佐藤文）：

公開講演会をオンラインで開催(2021 年 3 月 20 日 18:00-20:30)する予定である。タイトルは「宇宙と生命の起源」であることが報告された。

III-9. 事務所の近況報告（佐藤良）：特になし。

[資料リスト]

資料 1 理事会出欠表

資料 2 の 1 公益社団法人日本天文学会理事会（2020 年 9 月 7 日）議事録（案）

資料 2 の 2 公益社団法人日本天文学会理事会（電磁的決議）議事録

資料 3 加入者の承認。移籍の承認・報告、退会の報告

資料 4 公益社団法人日本天文学会 2021 年度(2021 年 4 月 1 日～2022 年 3 月 31 日)事業計画書

資料 5 収支予算書(案)

資料 6 2020 年度(2021 年 6 月)決算承認時-2022 年度(2023 年 6 月)決算承認時委員候補者リスト

資料 7 年会実行委員の交代について

資料 8 2021 年春季年会におけるジュニアセッションの開催について(報告)

資料 9 2021 年の春季年会について

資料 10 第 6 期代議員欠員補充について

資料 11 ネットワーク委員会活動報告（令和 2 年 9～12 月期）

資料 12 天文教育委員会より、前回理事会(2020 年 9 月 7 日)以降の活動報告

資料 13 天文教材委員会を今期で終了とする件について

資料 14 国内研修委員会の内規の修正

資料 15 次期理事・監事について

- 資料 16 2021 年度会費の納入期限延期について
- 資料 17 年会費と年会参加費について
- 資料 18 PASJ 編集委員会からの議題と報告
- 資料 19 キャリア支援委員会学生委員の追加について

2020 年 12 月 26 日

会 長：梅村 雅之 印

副会長：田村 元秀 印

副会長：寺田(馬場) 彩 印

監 事：大石 雅寿 印

監 事：関井 隆 印